

地域密着型金融の取組事例について

タイトル	食農体験学習の取組み	J A 名	J A 西三河 (愛知県)
1 動機 (経緯)	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達に、食料と農業への関心を高めるため、「食と農」への理解をより一層高めることが重要です。 ・このため、J A 西三河食農体験学習プランを掲げ、「稲づくり体験学習」、「野菜づくり体験学習」、「家族『食・農』体験農場」を3つの柱として、学校教育での支援、食農体験、農産物提供に取り組んで展開しています。 		
2 概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ J A 西三河において、以下の農業体験学習に取り組んでいます。 ○「稲づくり体験学習」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 田植え、かかしづくり、稲刈り、ちゃぐりん（広報誌）の提供、収穫祭（餅つき・おにぎり作り・米粉パン作りなど）。 ○「野菜づくり体験学習」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 春野菜種まき、定植、春野菜収穫、秋野菜種まき、定植、秋野菜収穫。 ○「家族『食・農』体験農場」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 夏野菜の定植、夏野菜の収穫祭、冬野菜の定植、さといも収穫祭、いちご雨避けトンネル設置作業、冬の収穫祭（ロールキャベツ・ケーキ作り）、畑の片付け。 		
3 成果 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 稲づくり体験学習を開催する学校を15小学校に拡大しました。 ・ 参加家族については、J A の P R を行い、今後の利用拡大につながりました。 ・ 食農体験学習を通じて、子ども達が「食と農」により一層興味をもち、食の大切さを実感してもらいました。 ・ 参加家族や子ども達と、J A との親近感が深まりました。 		
4 今後の 予定 (課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の食農体験学習に取り組むにあたって、以下のことが重要です。 ①子ども達をより一層「食と農」の関心を深めること ②学校教育の一環として取り組んで、体験してもらう ③「食と農」を通じて、「家族」「友達」「地域」の絆を深める ・ 食農体験学習を今後継続的に展開していく中で、参加いただいた家族や子ども達に、J A 事業を幅広くご利用していただけるように、取り組んでまいります。 		